

わたしたちの同窓生

《母校創立111周年》

会員数 31,525名  
平成22年4月1日 現在



同窓会報

椎の樹

2010.4.1 第24号

発行所 群馬県立高崎女子高等学校  
同窓会  
高崎市稲荷町20 電話(027)362-2585  
発行責任者 吉村 晴子  
印刷所 はその印刷

未来につなぐ110周年

高文創立百十周年記念  
**同窓会演義会**

高文創立百十周年記念  
**同窓会展覧会**

洋楽 邦楽

12月5日(土) 12月6日(日)  
開場13:00~ 開演12:00~  
会場コアホール 会場コアホール

主催:群馬県立高崎女子高等学校同窓会



高女生の未来

同窓会長 吉村 晴子

同窓会の皆様、お健やかに  
お過ごしのことと、お慶び申  
上げます。  
高女は創立百十周年を迎え  
5月1日には、式典、記念講  
演会に同窓生も多数参加して  
凛とした高女生の姿に未来を  
重ね、更なる母校の発展を願  
いました。  
この十年間の行事や生徒の  
活躍を記録した小史も発行さ  
れ同窓会も協力いたしました。  
同窓会では、皆様のご協力  
のもと、記念劇旅行、新名  
簿の発行、12月には同窓会展  
覧会・演義会と多彩に開催し  
ていたしました。

「校長先生、何で1歳若く  
無いですか。」昨年10月  
24日、修学旅行最終日に帰  
りの新幹線に乗るため待機して  
いた京都駅のコンコースで尋  
ねられた言葉です。一瞬戸  
惑いましたが、すぐ言葉の意  
図が読み取れ、目頭が熱くな  
りました。うれしい一言でし  
た。今回の修学旅行は、一言  
が国の仕事ともなうにつか  
り、3日目の夜からの参加と  
なりましたが、夕食会場に到  
迎した私を生徒たちは拍手で  
迎えてくれました。  
通常、高校の校長と生徒と  
の関係は形式的なものと言わ  
れますが、修学旅行に限ら  
ず、生徒たちは私をとても大  
事にしてくれました。同様に  
同窓会の皆様にも温かい言葉  
を沢山いただきました。校長

至福の三年間

校長 飯野 眞幸

CDの作成、百十周年記念式  
典や朝日新聞編集委員・加藤  
千洋氏の記念講演、また百十  
周年小史の刊行等感謝に堪え  
ません。改めて御礼を申し上げ  
ます。この度定年のため本  
校の校長を辞しますが、三年  
間物心共に支えていただいた  
高女同窓会の皆様の発展と会  
員の皆様のご健勝を心から祈  
念しております。ありがとうございました。



新校長紹介  
茂木 道弘

昭和27年生まれ・高崎高・東京  
教育大卒。数学科教師として、東  
林女子高・高崎高・(定)・高崎  
教員として修業(一定)・高崎  
女子高、特別支援学校長、  
群馬県立高崎女子高等学校長  
兼校長、群馬県立高崎女子高等学校長

【校歌合唱】  
在校生・同窓生ともに美しい歌声を  
響かせました

記念講演  
講師 加藤 千洋氏  
来題「世界中のアジア  
アジアの中の日本」

群馬県立高崎女子高等学校創立110周年記念式典

平成21年5月1日(金)  
群馬音楽センターにて  
校長式辞

同窓会総会

平成21年5月1日群馬音楽センター1会議室

195名の  
方にご参加  
いただき、  
総会が開催  
されました。

吉村会長のご挨拶と飯野校  
長・堤口PTA会長の挨拶の  
後、議事へ進みました。  
20年度事業報告、会計報告、  
会計監査報告がなされ、21年度  
事業計画・予算案・創立百十周  
年事業が承認されました。同窓  
会展覧会・演義会の説明と出品  
出演のお誘いや名簿発行などの  
連絡もありました。  
最後の校歌合唱では、美しい  
歌声が会場一杯に広がりました。  
午後には会費と、和やか  
なひとときとなりました。

開催日	時間	行事/場所	問い合わせ先
平成22年 4月30日(金)	13:50~	総会・講演会 椎樹館	81期(高34) 矢崎 裕子
7月11日(日)	12:00~	第59回京浜同窓会 東京プリンスホテル	82期(高35) 村沢リエ子
9月1日(水)	10:00 ~15:00	旅行申し込み日 椎樹館	81期(高34) 茂木 絹子
10月17日(日)	7:00 出発	同窓会親睦旅行 富士・箱根	81期(高34) 茂木 絹子
平成23年 2月6日(日)	11:00~	新年会 高崎ビューホテル	81期(高34) 矢崎 裕子
3月1日(火)		同窓会入会式	
4月1日(金)		会報25号発行	

平成22年度 同窓会総会 講演会

- 日時 4月30日(金) 受付 13時30分より  
総会開会 13時50分
- 場所 母校 椎樹館
- 講演 「地学と私ー観音山丘陵のことなどー」  
講師 角田 寛子 先生

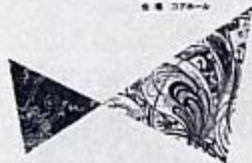
※ <23年度の当番期は82期(高35回)です>

# 記念展覧会・演奏会

2009年(平成21年)12月4日(金)~9日(水)  
高崎シティギャラリーにて展覧会、5日(土)  
洋楽演奏会・6日(日)邦楽演奏会がコアホール  
にて行われました。会期中総入場者2,000余名

高女創立110周年記念  
同窓会演奏会

洋楽  
2009年12月5日(土)  
開演 13:00  
終演 17:00  
会場 コアホール



洋楽

洋楽出演者82名



ソリスト全員によるフィナーレ

映像(彫刻・版画)と  
音楽のコラボレーション



「樹の森」



マンドリン部OG会「雪」



コーラス「今日もひとつ」 星野富弘 作詞



箏曲「六段の唄へ」

邦楽

邦楽出演者48名



最後に箏の伴奏で校歌を合唱しました



舞踊長唄「花唄」



長唄「勧進帳」



小唄 三題

茶席

4日間の  
茶席入場  
者数は  
900余名  
でした



ホッと一息 優雅なお手前



校章入り、ゆずの  
香りのおまんじゅ  
うはお土産にちと  
購入される方も多  
く大人気でした



あら  
お久しぶりです

交流会

73期(高26) 広瀬節子  
12月15日(火)正午より  
ジョージアンハウスにて、  
110周年同窓会展参加者  
による交流会が行われまし  
た。

123名の出席者でにぎ  
やかな宴となりました。  
吉村晴子同窓会長の挨拶の後、参加  
者から会長に花束が贈呈され、会場  
は温かいムードに包まれました。

現役とOGバスケ交流会

67期(高20) 多胡英子  
8月22日(土)、高女体育館にお  
いて、現役とOG若手による交流試  
合が行われました。OGはどこど  
ころで素晴らしいプレーを現役に見  
せることができましたが、惜しくも  
負けてしまいました。

今回110周年を  
記念して、写真の  
ような横断幕「高  
女勝利に向かって



燃えろ!」と、激励の言葉を贈りまし  
た。夜は栄町のエテルナにて懇親  
会を開きました。元顧問の川嶋先生・  
小林洋先生・現顧問の浅香先生・川  
田先生をお招きして旧交を温め、参  
加者110名が楽しいひとときを過ご  
しました。



書道



古典から新傾向まで、各世代の力作72点が揃いました

高女創立110周年

絵画



ほだほだあきのうねり、色彩と感性のコンセンサス66点

高女創立110周年記念 同窓会展覧会

● 2009年12月4日(土)～9日(水) 12:00～18:00(観覧19:00まで)

● 会場 シン・キョウライ



110周年 記念旅行

今回は百十周年にちなみ、110名員

歌舞伎観劇は創立百周年時にも100名の参加で行われました。

81期(高34) 針谷晴美 高女創立百十周年記念旅行に参加して

興で企画されました。また歌舞伎座が平成22年春に、建て替えのため取り壊されるので、さよなら公演として豪華な演目が企画されており、その10月大歌舞伎の昼の部を鑑賞することができました。

近づきつつあるという悪天候で朝から雨でしたが、総勢114名が参加され、にぎやかに実施されました。

後、浅草ビューホテルに会場を移しました。記念撮影をした後の観劇パティではおなじみの中華料理をいただきました。

今回の旅行は、歌舞伎鑑賞というところで、チケットの手配など、同窓会役員の方々の幹事の皆様は、いつも以上に苦労されたことと思われ、お陰様で本当に充実した時を過ごさせていただきました。心から感謝申し上げます。



歴史を刻んだ歌舞伎座



観劇後、浅草ビューホテルにて、参加者全員で記念撮影

工芸

染・織・漆・多様な素材の個性豊かな作品110余点、「美と用」の世界



文芸

珠玉の作品 51名の俳句・短歌・詩



華道

空舞生の感性と自然の恵みに畏敬を感じる力作64点が並びました



写真

深き絆 出品者30人、52点の秀作に見字者も感激

新会員名簿発行

皆様のご協力により、新名簿を発行いたしました。名簿約2500名、直色29件、賛助金484名の申し込みがありました。厚く御礼申し上げます。引き続きご協力を祈念して取扱い致します。



新年会

80期(高33)北村久美子



2月7日(日)、新年会が、高崎ビューホテルにて盛大に開催されました。飯野校長先生をはじめ4名の来賓を迎え、327名ものご来賓の下、華やかな会となりました。

吉村昭子同窓会長のご挨拶では、記念すべき百十周年に行われた数々の行事を振り返る中で、母校を愛する同窓生、愛校心、人の縁を大切にすの同窓会の皆様の素晴らしい姿が語られていた事などが述べられました。

母校の近況

バレーボール部

創部以来の快挙! 準決勝 対 健大高崎 2-0 決勝 対 高崎商大附 3-1 数字では表せない喜びが、真冬の体育館を包んでいました。1月30日、あの「春の高校バレー」への出場を決めたのです。このところベスト4の常連となり、振る舞うまで



山岳部

全国 第5位! 4年連続のインターハイ。そして今年は歴代最高の5位入賞を果たしました。夏の太陽は容赦なく照りつけ、全国大会特有の緊張を伴って4人の選手を疲労させます。大会は100点満点中の90点以上に22校がひしめきあう大接戦でしたが、高女は97.6点を獲得! 大きなミスはなく、テントの設置や気象データの読みとり、資料の作成など細かいところまで見事な登山でした。秋からは2年生が主力となり、次の夏山の頂上を目指し練習に励んでいます。

音楽部

関東大会のステージへ 音楽部は「人の心を動かす音楽作り」を目指して、充実した合唱練習を行っています。夏には群馬県合唱コンクールで金賞を頂き、9月に山梨県で行われた関東大会に出場することができました。結果は思わしいものではありませんでしたが、高いレベルの中で競い、改めて合唱の魅力に感動を覚えました。また、1月の群馬県音楽アンサンブルコンテスト

部活動成績

- ◆全国大会出場 ◆水泳部 インターハイへ 100m平泳ぎ 400m自由形 800m自由形 3種目出場 ◆陸上部 インターハイへ 4×400mリレー 1種目出場 ◆文化部 ◆全国レベルでの受賞等 ◆書道部

Table with 2 columns: 平成21年度大学合格数 (Left) and 平成22年度大学合格数 (Right). Rows list various universities and their respective student counts.

○平成22年4月、母校ホームページを更新いたしました。……こちらからも同窓会からのお知らせと会報をご覧いただけます。URLはwww.takajo-hs.jp/index.phpです。

京浜同窓会

81期(高34)谷島比呂美

平成21年7月12日に西新宿のハイアットリージェンシー「東京「平安の間」」において第58回京浜同窓会が開催されました。御来賓、恩師の皆様や同窓生100名が集い和やかに楽しい宴となりました。



京浜同窓会の鈴木会長は昭和23年の50周年記念総会祭のプログラムを紹介し「賑々々と続く伝統の中で百十周年を一緒に祝いでいけるご縁に感謝の気持ちで、心を一つにして閉会となりました。

入会のことば

暖冬と言われた今年もやはり寒さは厳しく、冷たい北風に耐え、ようやく春の気配が感じられる季節となりました。芽吹き始めた校庭の木々に見守られ、先ほど私たちが329名は無事に卒業いたしました。

思えば、初めてこの制服に身を包んだ日、高女での高校生活は、喜びだけでなく悩みや困難なことの連続でした。日々を乗り越え、勉強に部活に日々を過ごし、これらには、同じ思いを共有して



同窓会入会式

平成22年度 京浜同窓会 入会式 7月11日(日) 12時 東京プリンスホテル 連絡先: 82期(高35) 村高正子

平成22年度 高女同窓会親睦旅行へのお誘い 歴史と伝統に彩られた「富士屋ホテル」でフランス料理を堪能～ 日程: 平成22年10月17日(日) 期 費: 50名(バス1台) 申込方法: 平成22年9月1日(水) 10時～15時

校歌CD

好評に何 引き続きお取り扱います! 事務委託費 600円 送料(送料別) 900円 高女事務部へお電話下さい TEL:027-36225855

おかわりありませんか。春。ときとうれしく、ときにまはりました。年を重ねてまいりました。懐かしい花火を眺めたり「根の小径」におよせ下さつた原簿さん(50期)の中で、自然の移り変わりや中の一瞬の輝きをたええ愛でる心を、ずっと忘れずにいられたら、どんなにいいでしょう。昨年、高女創立百十周年の年にあたり、同窓会としては会報23号のご案内の通り、お祝いの心を込めた記念行事が、大勢の方の惜しみないご協力で行われ、たくさんの方に参加いただきました。その様子よりリアルにお伝えしたいのと思い、委員一同一心に編集にあたりました。高女創立の頃は、日清戦争と日露戦争の中間の時代にあたり、先進国に倣い女子教育の必要がクローズアップされは、尋常小学校四年終了がせいぜいで、高等小学校への進学は稀という状況の中、開校した県立高等女学校入学は特別のことであり、そこには誇りを持ち、志高く、進んでいくべき姿があったとしよう。権の大樹を見上げて、年月の重さを感じています。会報の権の樹も29年になりました。編集委員長 56期 吉野梨子

めがね

おかわりありませんか。春。ときとうれしく、ときにまはりました。年を重ねてまいりました。懐かしい花火を眺めたり「根の小径」におよせ下さつた原簿さん(50期)の中で、自然の移り変わりや中の一瞬の輝きをたええ愛でる心を、ずっと忘れずにいられたら、どんなにいいでしょう。昨年、高女創立百十周年の年にあたり、同窓会としては会報23号のご案内の通り、お祝いの心を込めた記念行事が、大勢の方の惜しみないご協力で行われ、たくさんの方に参加いただきました。その様子よりリアルにお伝えしたいのと思い、委員一同一心に編集にあたりました。高女創立の頃は、日清戦争と日露戦争の中間の時代にあたり、先進国に倣い女子教育の必要がクローズアップされは、尋常小学校四年終了がせいぜいで、高等小学校への進学は稀という状況の中、開校した県立高等女学校入学は特別のことであり、そこには誇りを持ち、志高く、進んでいくべき姿があったとしよう。権の大樹を見上げて、年月の重さを感じています。会報の権の樹も29年になりました。編集委員長 56期 吉野梨子

81期 玉置利保子 82期 野村 昭子 83期 野村 昭子 84期 野村 昭子 85期 野村 昭子 86期 野村 昭子 87期 野村 昭子 88期 野村 昭子 89期 野村 昭子 90期 野村 昭子 91期 野村 昭子 92期 野村 昭子 93期 野村 昭子 94期 野村 昭子 95期 野村 昭子 96期 野村 昭子 97期 野村 昭子 98期 野村 昭子 99期 野村 昭子 100期 野村 昭子